

まちの話題を写真でお届け！ まちフォト



2月1日・アリオ深谷 楽しみながら『防災』を学ぶ

『イツモ防災スタンプラリー』が行われ、『防災グッズ暗記クイズ』や『紙食器づくり』など参加者はクイズや体験を通して『防災』を学びました。



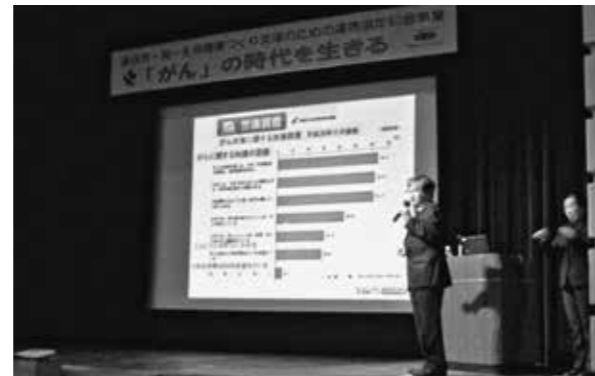
2月27日・上柴公民館 男女共同参画支援講座を開催！

『働く女性のストレス対処』をテーマに男女共同参画支援講座が開催され、参加した9人は講師の話真剣な面持ちで聞きました。



3月9日・市長公室 『渋沢栄一そっくりさん』が交通安全広報大使に！

『渋沢栄一そっくりさん』を務める3人が、深谷警察署長から交通安全広報大使に任命されました。今後、交通安全運動などの啓発活動で活躍します。



2月18日・深谷市民文化会館 健康講演会『がん』の時代を生きる

市と第一生命保険株式が健康づくり支援のための連携協定を締結した記念として行われた講演会。参加者は『がん』の専門家による講演に耳を傾けました。



3月9日・市長公室 パティシエと高校生がコラボレーション

(有)西倉西間堂と深谷商業高校の生徒が協働して、渋沢栄一がよく食べていたといわれる『オートミール』を使ったクッキーを開発し、発表会が行われました。



3月16日・深谷公民館 大河ドラマ館の名称が決定！

大河ドラマ「青天を衝け」深谷市推進協議会の全体会議が行われ、ドラマ館の名称を『渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館』に決定しました。



▲会場内の様子。それぞれの企業・団体が独自の『イイモノ』を来場者にアピールしました。



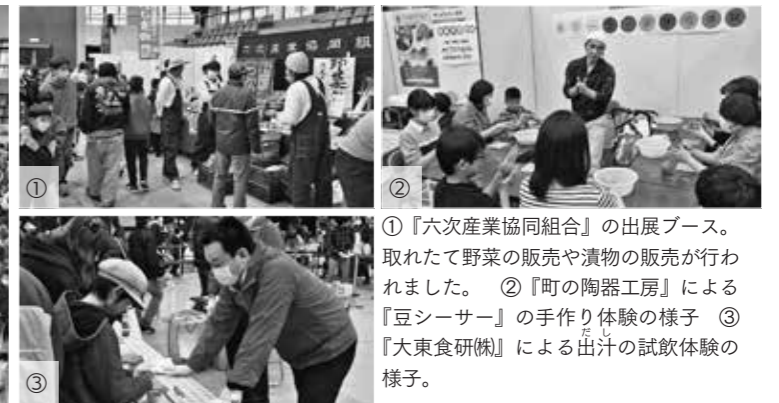
▲埼玉工業大学のロボット研究プロジェクト。パソコンでプログラミングしてロボットを動かす体験もできました。



▲参加者はグループに分かれゲームを開始。子どもから大人まで対話を行い、ゲームを楽しみました。



▲ゲーム終了後に感想を発表。『SDGs』を『まちづくり』や『地方創生』の身近なプロジェクトに引き寄せながら体感しました。



①『六次産業協同組合』の展覧ブース。取れたて野菜の販売や漬物の販売が行われました。②『町の陶器工房』による『豆シーサー』の手作り体験の様子 ③『大東食研株』による出汁の試飲体験の様子。

2月16日・埼玉工業大学体育館 渋沢栄一の精神を未来へ繋ぐ 深谷ものづくり博覧会 - Final -

深谷市内にある企業・団体がその独自の技術や製品などを市民にPRする『深谷ものづくり博覧会』。

5回目となる今回は30を超える企業・団体が参加し、さまざまな展示や体験、また、販売などを通してPRを行い、4,500人を超える参加者が集まった会場は大盛況でした。



①講師を務めた中島達朗氏(株)ふるサボ代表取締役・SDGsコンサルタント) ②ゲームで使用するカード。参加者はこのカードを使い、『行政担当者』、または『住民』の役割を演じながらゲームを行いました。

2月22日・深谷公民館 ゲームを通して『協働』を考える

市と埼玉縣信用金庫、あいおいニッセイ同和損害保険(株)との共催で行われた市民協働セミナー『SDGsゲーム』が開催されました。

参加者はカードゲームを通じてSDGsを学び、新しい協働のあり方を考えました。
※SDGs(持続可能な開発目標)・・・国連が定めた2030年までに達成すべき世界共通の目標で、『Sustainable Development Goals』の略語。